

# 夏まるかじりツアー

8月1日(水) ~ 8月3日(金)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	川遊び	ナイトハイク
2日目	野外炊飯	グループタイム	キャンプファイヤー
3日目	清掃・工作	施設を出発・解散	

一日目： 朝は不安そうな表情も見られましたが、バスの中で早くも友達ができ、楽しそうに話しておられました。グループに分かれ、昼食後は楽しみにしていた川遊びをしました。冷たい川をプカプカ流れたり、流れに逆らって進んでみたり、グループで遊びを考え楽しみました。この川遊びでグループの友達との距離が一気に縮まったようでした。施設へ入所し、食堂で夕食を済ませました。バイキング形式と知ると、大喜びでおかわりをしておられました。そして、外が暗くなった頃にナイトハイクへ出掛けました。プラネタリウムを思わせるような一面の星空をのんびり眺め過ごしました。



二日目： 朝のチャイムで目を覚まし、活動準備が始まりました。二日目は朝から屋外で活動しました。朝食は牛乳パックを利用したホットドッグを作りました。「少しこげちゃった!」、「きれいに焼けた!」と友達に報告しながら賑やかに食べました。昼食も野外炊飯なので、そのままカレーライス作りに取り掛かりました。係に分かれ、それぞれのペアやトリオで声をかけ合いながら調理を進めました。かまどになかなか火がつかなかったり、お米がこぼれたり、玉ねぎを切りながら涙したり、苦戦する事もありましたが、完成の瞬間はとても嬉しそうでした。片付け後、疲れた表情のメンバーが多かったので予定していたハイキングを変更し、屋内で過ごしました。少し休憩後、キャンプファイヤーで踊るダンスの練習をしました。夕食後、待ちに待ったキャンプファイヤーが始まりました。みんなノリノリでダンスを踊り、ゲームを楽しみ、大盛り上がりでした。



三日目： 昨日の疲れもあり、起床してからも眠そうな表情でした。身支度を済ませ、片付けに取り掛かりました。シーツや布団を畳み、部屋の掃除を分担して行いました。そして朝食後、部屋から荷物を運び出し、思い出工作をしました。今回は“キャンプで思い出に残った事”を焼き板に描きました。ブラシで板のすずを落とし、グループの友達とお喋りしながら絵を考えました。一つ一つの絵に思い入れがあり、描いた絵を詳しく説明してくれました。グループでの自由時間を挟み、最後の食堂での食事をとりました。お世話になった食堂の方にお礼を伝え、退所式をしました。一緒に頑張った友達とお別れは寂しいけど、またきっと会えるよね! それまでまったねえ~!!



## <キャンプ総括>

三日間天候に恵まれ、プログラムを満喫する事ができました。自然に囲まれた曽爾の施設では、普段住んでいる街ではできない体験が沢山ありました。冷たい川は夏の暑さやみんなの緊張を吹き飛ばし、広大な星空を見ながら様々な夢が膨らみました。コガネムシの大量発生には本当に驚かされましたが、その事も工作の焼き板に描き、思い出の一つとなったようでした。焼き板の絵は様々で、同じ自然の中で同じプログラムを楽しみましたが、感じる事や心に残るシーンはそれぞれ違うという事を表わしていました。これからも学校、習い事、キャンプなどで多くの人と関り様々な考えや想いに触れ成長してほしいと感じました。  
(生本 ひろみ)